

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和

印省略

平成29年度 実地研修会
(平成28年熊本地震の復旧・復興の現状) 開催について
～復旧・復興に向けた取組み～

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。
本協会では、平成29年12月7日(木)～8日(金)に標記実地研修会を開催いたします。
本実地研修会では、平成28年熊本地震の復旧・復興への対応を視察するとともに、発災時の初期対応や復旧・復興へ向けた官公庁等技術者の貴重な体験について学ぶことを目的としています。
なお、本実地研修会は国土交通省の後援のもと実施します。

② 日 程：別紙日程表のとおり

② 募 集 人 数：60名（現場条件により、中型バス2台（30名/台）で実施）

③ 研 修 料：一般（非会員）…………… 20,000円（税込み）
正会員・特別会員・賛助会員 …………… 17,000円（ 〃 ）
※若手（30歳未満）割引はありません。
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。
※研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舍の宿泊料は含みません。
現場研修時の昼食代（1,200円）を含みます。

④ 申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
申込者数が募集人数以内の場合、参加できる旨ご通知します。
申込者数が募集人数を超えた場合、本会にて選考し（地域性を考慮しつつ若手の方を優先）その結果をご通知します。
通知は、11月20日～24日頃を予定しています。
研修料の振込みは、本会からの通知の後をお願いします。

⑤ 申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥ 申込締切日：平成29年11月10日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※参加者が決定した後の取り消し（返金等）については、原則行いません。
※研修料の領収書及び視察資料は当日集合場所にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。
※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

- ・本講習会は、本協会で実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として
【聴講：2単位、現場研修：2.75単位】（予定）が取得できます。
※本協会では、平成29年度より「建設系CPD協議会」に加盟しました。
- ・技術講習会、実地研修会の情報については、全建ホームページをご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

平成29年度 実地研修会 日程

平成28年熊本地震の復旧・復興の現状 ～復旧・復興に向けた取組み～

本実地研修会では、平成28年熊本地震の復旧・復興への対応を視察するとともに、発災時の初期対応や復旧・復興へ向けた官公庁等技術者の貴重な体験について学ぶ。

会場 …………… ネストホテル熊本 2F「あそ」
〒860-0804 熊本市中央区辛島町4-39 TEL:096-322-3911

| (1日目) 開場15:00 | | 平成29年12月7日(木)【聴講】 | | (敬称略) |
|---|--------------------------|------------------------------|---|-------|
| 15:30 } | 熊本地震に伴う熊本城復旧事業について | 熊本市経済観光局熊本城総合事務所 土木整備班 主査 | 源 | 健 二 |
| 16:10 | | | | |
| 16:20 } | 一級河川木山川28年発生河川災害復旧工事について | 熊本県土木部河川港湾局河川課防災班 課長補佐 | 乙 | 丸 正 彦 |
| 17:00 | | | | |
| 17:10 } | 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事について | 国土交通省九州地方整備局 熊本復興事務所 副所長 | 野 | 村 真 一 |
| 17:50 | | | | |
| 18:00～19:30 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> ネストホテル熊本 2F「たかちほ」 | | | | |
| (2日目) 集合 8:20～ | | 12月8日(金)【現場研修】 | | |
| 桜の馬場 城彩苑 駐車場(8:50) 出発 | | | | |
| → 熊本地震に伴う熊本城復旧事業(下車説明) | | | | |
| → 一級河川木山川28年発生河川災害復旧工事(下車説明) → 昼食〔益城町内〕 | | | | |
| → 俵山トンネル・長陽大橋(車窓見学) | | | | |
| → 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(下車説明) | | | | |
| → 阿蘇くまもと空港(15:55) / JR熊本駅(17:05) 着後解散 | | | | |
| ※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。 | | | | |

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム(建設系CPDプログラム)
【聴講】2単位、【現場研修】2.75単位(予定)

平成29年度 実地研修会（平成28年熊本地震の復旧・復興の現状）事業の概要

1 熊本地震に伴う熊本城の修復事業（仮称）

平成28年4月14日に発災した平成28年熊本地震により、熊本城は過去類を見ない甚大な被害を受けました。

その被害は、倒壊・崩落一部損等を含め重要文化財建造物13棟及び再建・復元建造物20棟の全てが被災し、石垣は全体の約3割に当たる約23,600㎡に崩落や膨らみ・緩など膨らみ・緩など修復を要する箇所が見受けられるほか、便益施設等26棟も屋根や壁が破損し、地盤についても約12,345㎡に陥没や地割れが発生するなど熊本城全域に及びます。

この甚大な被害を受けた熊本城復旧には長い歳月と多経費を要するが見込まれ、現在把握している被害だけでも、その被害額は、概算で約634億円に上ります。

〈熊本城復旧の基本的な考え方〉

- 1 復興のシンボルである天守閣早期旧を目指す。
- 2 文化財的価値を損なわない丁寧復旧を進める。
- 3 復旧過程の段階的公開を行い、観光資源として早期再生を図る。
- 4 耐震化など安全対策に向けて最新技術も取り入れた復旧手法の検討を行う。
- 5 “100年先の礎づくり”として未来復元整備に繋がる復旧を目指す。

.....熊本市中央区



2 一級河川木山川28年発生河川災害復旧工事

木山川は、西原村を源流とし、益城町を通り、熊本市の加勢川（緑川支川）へ繋がる県管理河川です。

〈被災状況〉

木山川は布田川断層帯の北側に沿って流下する河川で、断層地震により広域的地盤沈下（約0.6～1m）が発生、沈下が下流より上流の方が大きかったため、縦断勾配が緩くなりました。また、堤防は広域的地盤沈下に加え、亀裂や緩みによる沈下（0.3m程度）が発生しました。これにより、熊本市と益城町の約8kmの区間にわたり流下能力が不足することとなりました。

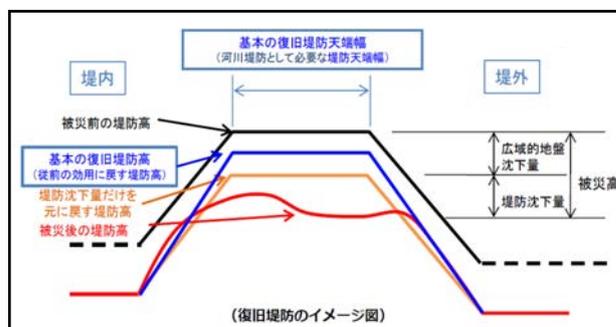
〈復旧の基本的な考え方〉

- 1 堤防等の復旧高は、堤防沈下、広域地盤沈下による河川縦断勾配緩傾斜化により低下した治水機能を「従前の効用」に回復する高さとする。
 - 2 堤防天端幅は、従前の効用を確保する幅とする。
 - 3 早期に治水機能を回復するため、用地買収を伴う復旧は極力行わない。
- ※ 上記に基づき、平成28年9月に災害査定を受け、災害復旧工事を実施しています。

〈応急工事〉

工事完了までに2回の出水期（H28、H29）があるため、仮堤防として大型土のう（高さ約1m）を設置しています。

.....熊本県上益城郡益城町木山



被災直後



応急工事完了

3 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

……………熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区

4月16日未明に発生した本震により、熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区において長さ約700m、幅約200m、崩壊土砂量は、約50万³に及ぶ大規模な斜面崩壊が発生しました。

この崩壊により阿蘇地域の生命線である道路・鉄道等の交通インフラが失われ、地域住民の生活・経済に深刻な打撃となり、早急な復旧が求められています。

崩壊斜面の頭部には多数の開口亀裂や切り立った滑落崖があり、余震や降雨による更なる崩壊の危険性がありました。

このため、崩壊斜面下部では無人化施工技術を駆使するとともに、斜面頭部への分解組立式バックホウの空輸、高所法面掘削機（遠隔操作）による不安定土砂の除去を行い、昨年末には緊急的に除去が必要であった頭部の不安定土砂の撤去が完了しています。

現在は、崩壊斜面下部での有人による施工環境が整い、交通インフラの復旧に向けた調査が進められるとともに、崩壊上部では斜面の恒久的な安定化対策のための準備工事が進められています。

(平成29年5月現在)



幹旋宿泊及び予約申込案内

宿泊幹旋：宿泊幹旋希望者には熊本市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行（株）首都圏営業部 東京団体支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15（JFAハウス5階）「全建担当デスク」迄
（営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

| | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 宿泊日の4日前まで | 宿泊日の3日前～前日まで | 当日（宿泊開始前） | 宿泊開始後及び無連絡不泊 |
| 無料 | 宿泊代金の20% | 宿泊代金の80% | 宿泊代金の100% |

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成29年12月7日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

| 宿舎名・所在地・電話番号 | 部屋タイプ | 幹旋人数 | 宿泊代金 |
|---|-------|------|--------|
| ネストホテル熊本 熊本市中央区辛島町4-39 EL:096-322-3911 | シングル | 30名 | 8,000円 |

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

また、禁煙ルームの数には限りがある為、ご希望に添えない場合があります。その場合には、消臭対応をさせていただいたお部屋となります。

案内図



**平成29年度実地研修会
(平成28年熊本地震の復旧・復興の現状)に参加の皆様へ！
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します**



(一社)全日本建設技術協会主催の講習会では、全国から多くの方々にご参加いただき、この機会を有効に活用するため、参加者同士が連携・交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで、知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を実施しています。さらに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成29年12月7日(木) 18:00~19:30(予定)

場所 : ホテルネスト熊本
2F「たかちほ」

会費 : 2,000円
(受付時に徴収)

※開催時間は変更が生じることもありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装については特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
 (特別・賛助会員名、会社名)

平成29年度 実地研修会 (平成28年熊本地震の復旧・復興の現状) 申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

| 参加者 | | 勤務先 (所属課名まで記入のこと) | 聴講・現場 | | 交流会 | 宿泊 12/7 ○禁 ○喫 | 選考結果 |
|--|----|-----------------------------------|---------|-------|-----|--------------------------|----------------|
| (フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい) | 年齢 | | 一般(非会員) | 正・特・賛 | | | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | |
| ※ 一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。 ※ 宿泊料は、実地研修料に含みませんのでご注意ください。 ※ この実地研修会は募集人数が少ないことから、申込み締め切り後に本部より選考結果を通知します。研修料のお振り込みは、その後をお願いいたします。 なお、宿泊申込みは、選考にもれた場合は自動的にキャンセルになります。 | | | | | | 交流会費 2000円は現地でお支払い下さい | ※この欄は事務局が使用します |
| 実地研修料 一般(非会員) | | ※この欄は本部事務局が使用します。 名×20,000円＝ 円 | | | | | |
| 正会員・特別会員・賛助会員 | | 名×17,000円＝ 円 | | | | | |
| 計 | | | | | 円 | | |

【お申込みについて】

↓本部の通知後に全建に振込

必要事項を記入し、期限までにできるだけメール又は郵送にてお申込み下さい。

研修料[銀行振込の(写)]は、本会からの通知後にメール又はFAXにて送付願います。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

申込み締め切り後の参加者の変更はできません。

【実地研修会の昼食について】

実地研修会の昼食は全員用意いたします。不要の申し出は出来ません。